

平成二十七年 度 江戸川看護専門学校 入学試験問題

国 語

注 意

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 試験時間は六十分とする。
3. 受験番号、氏名を解答用紙に正確に記入すること。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. その他の注意事項は、試験官の指示に従うこと。

一

次の①～⑮の各文中の傍線部のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを平仮名で記せ（楷書で正確に記すこと）。

- ① 弱点をコクフクする。
- ② 事業の運営をエンカツに進める。
- ③ 過去の事例にイキヨとして判断する。
- ④ 転地してリヨウヨウする。
- ⑤ 虫をカイボウする。
- ⑥ いろいろな角度でナガめる。
- ⑦ 貧富のカクサが広がる。
- ⑧ 事実をコウテイする。
- ⑨ コクモツの生産。
- ⑩ 感情のキフクが激しい。
- ⑪ これまでの人生を顧みる。
- ⑫ 風邪を引いたのか悪寒がする。
- ⑬ 思い切った措置をとる。
- ⑭ 自立心を育む。
- ⑮ じつと感動に浸る。

二

次の空欄に、『不』『非』『否』『未』『無』のいずれかの文字を入れて、反対語を作れ。

(例) 有料 ⇄ 無料

※解答欄にはいずれかの一文字のみを記入せよ。

- ① 可決 ⇄ () 決
- ② 道理 ⇄ () 理
- ③ 当番 ⇄ () 番
- ④ 完成 ⇄ () 完成
- ⑤ 合法 ⇄ () 法

三

次の各文の空欄にあうことばを、それぞれ下から選び、ことわざを完成させよ。

- | | | |
|------------|--------|--------------------------|
| ① 両手に () | 《 語群 》 | ア 風 |
| ② 鬼に () | | イ かすがい |
| ③ 柳に () | | ウ とじ蓋 <small>ぶた</small> |
| ④ 青菜に () | | エ 塩 |
| ⑤ 豆腐に () | | オ 釣り鐘 |
| ⑥ 渡りに () | | カ 舟 |
| ⑦ 提灯に () | | キ 金棒 <small>かなぼう</small> |
| ⑧ 月夜に () | | ク 花 |
| ⑨ 盗人に () | | ケ 提灯 |
| ⑩ 破れ鍋に () | | コ 追い銭 <small>おせん</small> |

四

次のことわざに関連の深い四字熟語をそれぞれ下から選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|---|---------------------------------|------|---|-----------------------------|
| ① | 目は口ほどにものを言う | 《語群》 | ア | 自画自賛 |
| ② | 幽霊の正体見たり枯れ尾花 <small>おぼな</small> | | イ | 以心伝心 |
| ③ | しり馬に乗る | | ウ | 用意周到 |
| ④ | のれんに腕押し | | エ | 馬耳東風 |
| ⑤ | 手前味噌を並べる | | オ | 隔靴搔痒 <small>かつかさうよう</small> |
| ⑥ | 二階から目葉 | | カ | 疑心暗鬼 |
| ⑦ | 先んずれば人を制す | | キ | 先手必勝 |
| ⑧ | 備えあれば憂いなし | | ク | 付和雷同 <small>ふわどうどう</small> |
| ⑨ | 身から出たさび | | ケ | 無常迅速 |
| ⑩ | 歳月人を待たず | | コ | 自業自得 |

五

次の文の順序を変えて、要旨がはっきりした文章にするにはどの順序がよいか。記号を並べ替えて答えよ。

- A 人間の社会の歴史が進んでゆくにつれて、そうした良識がだんだん強く、実現されてゆくことになるのであって、その点では歴史は繰り返さずたえず前進しており、かつ希望と光の方向に進んでいるといつてよい。
- B めいめいの人間は、思想も考え方も違う。また欲望も違う。知識の進んだもの、判断の鋭いものもあり、また知性の浅いものもある。
- C その良識が、政治にしたがって生活に生かされてゆくことが民主主義といつてよからう。
- D しかしながら、それらすべてをひっくるめてみると、共通の合理性を持った判断・健全な願望がある。それが人間の良識というものであろう。

六

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

人はなぜ働かなくてはならないのか。

この問いに対してただちに思い浮かぶのは、「食っていくために決まっているじゃないか」という答えである。(ア) この答えは、なくてはならない必要条件の一つを構成している。しかし本当にそれだけだろうか。もしそうだったら、その対偶の論理もただちに正しいということになる。(イ)、「人は食うことが満たされるなら、あくせく働く必要はない」という考え方が無条件で認められることになる。

もし一生遊んで暮らせるだけの資産が手に入ったら、あなたは、働くことをやめるだろうか。

私の推定によれば、人は一般に、法外な資産を手に入ると、相当の個人的な贅沢を追求するところまではいくだろうが(実際、大部分の人はそうしている)、その追求だけに人生を限定して、仕事をすっかり辞めてしまうということもほとんどしないと思う。

(ウ) ビル・ゲイツはいうに及ばず、タイガー・ウッズやイチローなども、若くしてすでにその資産は相当なものがあるが、彼らも決して働くことをやめようとしな^Aい。これらの例には、人間が労働する存在である理由を単に「食っていくため」ということ^Aにだけ求めたのでは決定的に不足してしまう事実が、何ほどかハンエイしてはいないだろうか。しかしそうすると、また、一つの答えが頭を擡^{もた}げてくる。それは「好きな仕事に就くことで、人生の充実を味わえるからだ」というものだ。だが、この答えは不十分である。(エ) 、だれもが、「好きな

仕事」に就けるわけではないし、(オ) はじめは「好きな道」と踏んである仕事に飛び込んだとしても、どの道であれ、働くことのつらさはついてまわるし、実際には、「いやいやながら」という感情を押し殺しながら日々の仕事をやり過^こしている場合の法が圧倒的に多いからである。

では、労働の意義を「モラル」に求める考え方はどうだろうか。「働かざる者食うべからず」「勤労は、それ自体が美德なのだ。怠けてふらふらしているやつはろくなことをせず、社会に害毒を流す」「小人閑居にして不善をなす」云々。

この、道徳観念によつて労働の意義を根拠づける考え方は、多くの人をとりあえず納得させるに違いない。それは現に営々と働いている人たちのアイデンティティをホシヨウ^Bしてくるし、それらの人たちの働きの中に流れるエートスによつてこの社会が支えられていることは事実だからだ。

(カ) 、私は、これもまた別の意味で不十分であると考える。というのは、およそある道徳観念というものは、それだけとして絶対的に(自己原因的に)成り立つものではなく、(キ) 人間同士の欲求や行動の交錯が生み出してしま^うう秩序の混乱をさけようという必要から二次的に考案された知恵に他ならず、それをジュンスイ^Cかつ教条的に通そうとすると、必ず、人間の活動実態との間に無理な齟齬^Dを生み出してしま^ううからである。この場合でいえば、過度な勤労道徳によつて人間の労働の意義を根拠づけようとすると、そこにはかえって強制感^Eとヨクアツ^Fがつきまとうことになり、再び「なぜこんなにあくせく働かなくてはならないのか」という疑問を強く導き出してしま^うう。

以上のように考えると、「人は働くことが好きなのだ」という「欲望論的解釈や、「労働は美德である」という「道徳観念が労働の意義を支える究極点なのではなく、むしろ逆に、個人の自然本性（好きな道だから働く）でも道徳観念（人は働くべきだ）でもない何か、私たちの「働きたい」という欲求や「働くべきだ」という道徳を支えている」とらえたほうがよい。

私はこの問題を次のように理解する。労働の意義を根拠づけているのは、私たち人間が、本質的に社会的な存在であるという事実そのものである。

労働が私たちの社会的な存在のあり方そのものによって根元的に規定されてあるということには、三つの意味が含まれている。一つは、私たちの労働による生産物やサービス行動が、単に私たち自身に向かって投与されたものではなく、同時に必ず、「だれか他の人のためのもの」という規定を帯びることである。

労働の意義が、人間の社会存在の本質に宿っているということの第二の意味は、そもそもある労働が可能となるためには、人は、他人の生産物やサービスを必要とするという点である。これもまた、いかなる原始共同体でも変わらない。じつさに協業する場合は言うに及ばず、一人で労働する場合にも、その労働技術やそれに用いる道具や資材などから、他人の生産物やサービス活動の関与を排除することは難しい。すっかり排除してしまったら、猿が木に登って木の実を採取する以上の大したことではないであろう。

そして第三の意味は、労働こそまさに、社会的な人間関係それ自体を形成する基礎的な媒介になっているという事実である。労働は人間精神

の、身体を介してのモノや行動への外化・表出形態の一つであるから、それははじめから関係的な行為であり、他者への呼びかけという根元的な動機を「ヒソませている。労働は、一人の人間が社会的人格としてのアイデンティティを承認されるための、必須条件なのである。」

（小浜逸郎『人はなぜ働かなくてはならないのか』による）

（注） アイデンティティ……自己同一性。

エトス……社会集団における道徳的な慣習。エトス。

教条的……原理・原則だけにとらわれ、応用のきかないさま。

齟齬……かみ合わないこと。

問一 傍線部A～Fのカタカナは漢字に直し、漢字は読みを平仮名で

記せ（楷書で正確に記すこと）

問二 文中の空欄ア～キを埋めるのに最適なもの、次の中からそれぞれ一つ選び、番号で答えよ。ただし、同じものを二度以上用いてはいけない。

- | | | | | | |
|---|------|---|-----|---|------|
| 1 | たとえば | 2 | むしろ | 3 | そして |
| 4 | もちろん | 5 | たとえ | 6 | しかし |
| 7 | あるいは | 8 | つまり | 9 | なぜなら |

問三 傍線部1「欲望論的解釈」に対する筆者の評価が端的に述べられている段落を本文中から探し、その段落の最初の五字で答えよ。ただし、句読点も一字と数える。

問四 傍線部2「道徳観念」の内容を具体的に示しているものとして最適なものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

- 1 秩序と混乱を避ける必要から二次的に考案された知恵
- 2 営々と働いている人たちのアイデンティティを支えているもの
- 3 「好きな仕事に就くことで、人生の充実を味わえる」という考え方
- 4 「働かざるものは食うべからず」という考え方
- 5 労働は社会を幸福にするためにあるという思想

問五 傍線部3「労働の意義を根拠づけているのは、私たち人間が、本質的に社会的な存在であるという事実そのものである」のように筆者が断定する理由を述べた次の文を完成させよ。ただし、空欄Xに合うように、文中の語句を用いて三十字以内で記すこと。

自身の労働が他者に恵みを与え、その労働を他者が必要とするだけでなく、労働自体が（ X ）として存在しているから。

問六 本文における筆者の考え方に合致しないものを、次の中から二つ選び、番号で答えよ。

- 1 資産家も働いていることを考えれば、人間が労働するのは単に「食っていくため」でないことがわかる。
- 2 人は、好きな仕事に就くことで、苦労を苦労とも感じないため、人生の充実感を味わうことができる。
- 3 「勤労は、それ自体が美徳なのだ」ということを労働の意義だとする考え方は、不十分なとらえ方である。
- 4 私たちの労働による生産物やサービス行為は、自分自身のためであるばかりか、自分と他者をつなぐ役割をも担っている。
- 5 私たちは、労働によって経済的に自立してはじめて、一人の社会人としてのアイデンティティを承認されることになる。

六						五	四	三	二	一		
問六	問五		問四	問三	問二	問一	①	①	①	⑪	⑥	①
					ア	A						
							②	②	②			
					イ							
						B	③	③	③	⑫	⑦	②
					ウ							
							④	④				
					エ	C			④			
							⑤	⑤		⑬	⑧	③
					オ				⑤			
						D	⑥	⑥				
					カ					⑭	⑨	④
							⑦	⑦				
					キ							
						E	⑧	⑧				
										⑮	⑩	⑤
						F	⑨	⑨				
							⑩	⑩				

受験番号

国語

氏名

得点

平成二十七年 度 江戸川看護専門学校 入学試験 解答用紙